



くまがや

農委だより

No.48
平成29年
4月1日発行

熊谷市農業委員会

〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1

E-mail:nogyo@city.kumagaya.lg.jp

TEL048-524-1111(代表)内線404・407 / 048-524-1640(直通) / FAX048-525-9335



ラジコンヘリで麦の赤カビ病防除

おもな内容

- ◆第3回農業委員会総会……………P1
- ◆いきいき農業No.31……………P5
大里農林振興センターです
- ◆農林水産予算……………P2
- ◆キラリレディ⑤……………P6
- ◆農作業受託標準料金表……………P3
- ◆新シリーズ治水と用水①
農業よもやま話⑳……………P7
- ◆農地賃借料情報……………P4

第3回 農業委員会総会

2月27日に農業委員会第3回総会が開催され、新会長、会長職務代理が選出されました。

今後とも農家の代表として農業の抱える諸問題に積極的に取り組むとともに、農家と行政をつなぐ架け橋として活動してまいりますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



会長就任あいさつ

会長 松本 丈

2月27日の農業委員会第3回総会において会長に選出されました。身に余る光栄に存じますとともに責任を感じております。浅学非才ですが、関係機関の皆様への御支援、御指導をいただきながら精一杯取り組んでまいります。

会長

松本 丈

会長職務代理

森 宏志(筆頭職務代理)

木村 進(兼農地部会長)

塚田とよ子(兼農政部会長)



左から塚田農政部会長、森筆頭職務代理、松本会長、木村農地部会長

国内農業においては農業従事者の減少・高齢化、耕作放棄地の増大、加えて貿易自由化による農産物価格の低下等、大変厳しい状況下にあります。この打開策として政府は農業の大型化、六次産業化とともに農産物の輸出に向けての取り組みを進めています。そのような流れの中で本市農業の発展のため、難題を解決すべく、委員一同心を一つにして取り組んでまいります。皆様方よりさらなる御協力を頂きますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

農地貸出票を交付します

農業委員会では農地の有効利用を図るため、平成29年度から希望される方に『農地貸出票』の交付を行います。

これまで、農地の貸出を希望する所有者からの申出により、貸したい農地情報の登録を行ってまいりましたが、4月から希望者に『農地貸出票』を交付しますので、該当農地に立っていただき、借り手にわかりやすく情報を発信します。

貸出票を希望する方や、『農地貸出票』を見て、借出を希望される方は、左記までご連絡ください。

連絡先 農業委員会事務局
電話048-524-1640
(直通)

農地利用意向調査では大変お世話になりました。

一月に実施しました農地利用意向調査では、皆様にご協力いただきありがとうございます。おかげをもちまして、調査票の回答が9割を超えるこ

とができました。今後の農地の有効活用に向け、調査の結果を、本市農業政策に反映していけるよう活用してまいります。

熊谷市農業委員会農地貸出票

借り手を探しています

農地情報	登録番号	7-23		
	所在	妻沼 南一本木 715-5		
報	地目	畑	面積	450㎡

この土地は農業委員会に貸出希望の申請がされ、借り手を探している

農地です。耕作を希望される方は、下記までお問い合わせください。

熊谷市農業委員会事務局 048-524-1640 (直通)

平成29年度 農林水産業予算(事業方針)

本市農業の発展のため、以下の事業を進めていきます。

- 1 経営所得安定対策の推進、「人・農地プラン」の更新、担い手への農地集積、青年就農者の経営安定を支援します。
- 2 米麦の種子更新の推進、無人ヘリによる水稲や麦の広域防除を支援します。
- 3 農業者の高齢化、耕作放棄地の増大などの問題を解決するため、農地中間管理事業に取り組みます。
- 4 エコファーマーによる環境保全型農業の推進、農作業で不用となった塩化ビニール等の収集、フェロモン剤による害虫防除を支援します。
- 5 農業や地元農産物への理解を深めるため、農業体験や料理教室を開催します。
- 6 経営体の法人化、担い手育成、新規就農者の確保、認定農業者の育成、

ほ場整備事業等農業生産基盤整備の推進、有害鳥獣の駆除、耕作放棄地の解消等を引き続き推進していきます。

(農業振興課)

主な事業

農業振興課関係

◆経営体育成支援事業

(25,000千円)

人・農地プランに位置づけられた地域農業の中心となる経営体が、規模拡大等を図るため必要な農業機械等を導入する際に事業費の10分の3以内(上限300万円)を支援します。

◆農地中間管理事業

(10,407千円)

農地中間管理機構が、農地を借り受け、担い手に転貸し、農地の集積・集約化等を図ります。地域や農地の出し手に対する支援として、一定の要件に該当する場合に交付される機構集積

協力金の制度があります。

農地整備課関係

◆多面的機能支援事業

(189,107千円)

農地、農業用水等の資源環境の保全と質的向上を図るため、市内44地区の活動組織が地域ぐるみで行う活動を支援します。

◆ほ場整備事業

(10,413千円)

農業経営の安定化を図るため、ほ場整備を実施していきます。

(熊谷中央地区・池上地区・上之東部地区)

◆農業集落排水事業

(特別会計)

(419,101千円)

農村集落環境の向上に資するよう、農業集落排水施設の適正な維持管理を行います。

農業委員会関係

◆中核的担い手農家育成事業

(11,000千円)

農地の集積を促進し、耕作放棄地の発生を防止するとともに、規模拡大農家の育成のため、一定の要件を備えた借受者に奨励金を交付します。

農業委員会農政部会

視察研修を実施

1月27日(金)農政部会の視察研修が農業委員15人の参加のもと行われました。

今回は、移転後2年目の農業大学校を視察しました。

副校長から農業大学校の説明があり、圃場に出向き作物の状況等を拝見しました。今後の本市の農業発展

農業経営者協議会視察研修

2月21日(火)44人で茨城県龍ヶ崎市へ視察研修に行ってきました。

午前は農業体験民宿「半兵衛」にて地域の空き家を活用した援農者のための民宿設立の経緯から運営についてお話を伺いました。

午後からは、有限会社「横田農場」にて、稼げる法人の経営方針や特色について、お話いただき、ほ場や施設

大里地区農業委員研修会

開催される

2月7日(火)、大里農業委員連絡協議会主催による研修会が深谷公民館で開催され、熊谷市、深谷市及び寄居町の農業委員69人が参加しました。

のためにも農業大学校とのより一層の連携を図っていきます。



を見学させていただきました。活発な意見交換もでき、新しい感覚での農業経営に刺激を受け、大変有意義な研修となりました。



今回は農地の相続に関する「贈与税及び相続税の納税猶予制度について」税理士の西田芳秋氏を講師に迎えて、ご教授いただきました。この制度は農家の事業継承を税制面で支援するための制度です。

平成29年度 農作業受託標準料金表

平成29年4月1日 熊谷市受託農業経営事業運営協議会（単位：円）

■ 基盤整備地区			
種 目	単 位	金 額	備 考
耕 耘	10a当	5,500	1 回耕耘
代かき	10a当	6,500	
麦収穫	10a当	16,000	自脱コンバイン（結束は2,000円増し）
麦収穫	10a当	15,000	普通型コンバイン（運搬込み）
水稻収穫	10a当	18,000	自脱コンバイン（結束は2,000円増し）
麦播種（水稻直播）	10a当	5,500	播種のみ
麦乾燥	1kg当	25	小型乾燥機
籾乾燥調製	1kg当	25	小型乾燥機
大豆乾燥	1kg当	20	
大豆乾燥調製	1kg当	22	
機械田植	10a当	8,500	苗運搬別途料金（側条施肥の場合は3,000円増し）
育 苗	1 箱当	700	成苗まで
防 除	10a当	3,500	薬剤別途
畦塗り	片 面	3,500	1 作業（100m基準）
麦稈収集	10a当	5,500	ベラー・ボックス梱包（搬出込み）

■ 未基盤整備地区			
種 目	単 位	金 額	備 考
耕 耘	10a当	6,500	1 回耕耘
代かき	10a当	7,500	
麦収穫	10a当	17,000	自脱コンバイン（結束は2,000円増し）
水稻収穫	10a当	19,000	自脱コンバイン（結束は2,000円増し）
機械田植	10a当	9,500	苗運搬別途料金（側条施肥の場合は3,000円増し）

■ 農繁期諸賃金

種 目	単 位	金 額	備 考
農繁期諸賃金	1 日当	7,360	特別技能者別途協議
畑作業	1 時間当	845	
室内野菜作業	1 時間当	845	

■ その他

種 目	単 位	金 額	備 考
運 搬	10a当	2,500	籾・麦
農地の通年管理	10a当	30,000円より	
肥料散布	10a当	3,000	肥料代別途

※農薬散布につきましては安全管理に十分ご注意ください。※作業内容によっては別途話し合いとなります。（消費税込み料金）

土が落ちないよう事前に対処いただき公道に土が落ちた場合は、速やかに土を除去していただくようお願いいたします。

道路に土が落ちてそのままになってしまうと、土の上を走った車がスリップしたり、自転車での走行者が転倒するなど事故の原因となるおそれがあります。

農作業が本格的に始まる季節です。耕耘機・田植機・トラクターなどの農業用機械で田・畑から公道に出る時は、一度機械について土を農地で落とし、公道を走るようにしましょう。

農業用機械で公道を走るときは土の落下に気をつけましょう。



熊谷市賃借料情報

平成28年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10aあたり）は、以下のとおりとなっております。

1 田の部

締結（公告）された地域名	平均額（円）	前年比（円）	最高額（円）	最低額（円）	平均額算出の基礎とした筆数	左のほかに結ばれた使用貸借の筆数
熊谷	7,700	△100	12,000	2,434	612	271
妻沼	7,200	400	11,000	2,865	301	107
大里	5,400	800	9,000	2,434	206	71
江南	6,100	900	10,000	2,700	93	26

2 畑（普通畑）の部

締結（公告）された地域名	平均額（円）	前年比（円）	最高額（円）	最低額（円）	平均額算出の基礎とした筆数	左のほかに結ばれた使用貸借の筆数
熊谷	7,700	1,000	12,000	3,000	67	186
妻沼	8,300	△700	12,000	3,000	111	94
大里	5,100	200	8,000	3,000	21	51
江南	3,700	1,500	4,500	2,000	98	36

※1 実際に締結した賃貸借契約（使用貸借を除き、物納支給は玄米・野菜価格で換算。農地の整備・未整備を合わせている。）の賃借料に関するデータによる。

※2 「平均額」は、算出結果を四捨五入し100円単位としている。

※3 「最高額」及び「最低額」は、平均額算出の基礎とした賃借料の最高額及び最低額です。

ここに示されている金額は、賃貸借契約の賃借料の平均額です。使用貸借による無償の賃貸借契約も多数（全体の約3割強）存在しますので、ここでの金額はあくまでも参考としてください。

農地中間管理事業

上新田・三本地区内の農地について、農地中間管理機構へ貸し付けを希望する所有者から「貸付意向申出」を受け付けます。申出があった農地のうち、「受け手」がついた農地のみ機構が借り受けます。貸付者は「受け手」を選ばません。貸付意向の申出に対する回答は6月頃となります。

①募集地区及び受付場所等

地区	農地	受付場所・時間	賃貸借料（10a当り）	貸付期間	申出方法	持参するもの
上新田・三本地区	上新田、三本	① 江南行政センター地域振興係 （平日8時30分～17時） ② JAくまがや・江南支店 （平日8時30分～16時） ③ JAくまがや南部営農経済センター （8時30分～16時 火曜日・祝日を除く）	田 5,000円 畑 2,000円	10年間	受付場所に設置されている「貸付意向申出書」に記入押印し窓口へ提出	印鑑、農地の所在地番と面積が分かる資料

- ② 受付期間 4月3日（月）～4月28日（金）
- ③ 借り受ける始期 平成29年11月1日（予定）
- ※ 今年の麦作付から借り受け予定です。（田・畑共通）それまでは所有権等に基づく管理等をお願いいたします。
- ④ その他

これまで農地中間管理事業「受け手」に申込みされていない認定農業者等で募集地区内の農地の「受け手」希望者も受付場所等で申込書等に記入押印し窓口へ提出してください。

上新田・三本地区の農地の次回募集は、平成30年春頃の予定です。今回は募集はしませんが、小原地区及び奈良地区の農地の募集は、平成29年秋頃の予定です。

担当 農業振興課（妻沼庁舎）
電話 048158819990（直通）

新規就農者を紹介します！

農業で頑張る



山崎 秀良

人間には食事が一番大事。食事には主食、主菜、副食、副菜があります。体の栄養バランスをしっかりとらないと体調が崩れてしまう。となると農業が命の元。私はいろいろな職業を経験してきました。建築、電気、造作大工、調理師等。そういった様々な職業の中で農業だけ自然の力を貸してくれる。種をまけば10倍100倍1000倍になって返ってくる。

去年4月埼玉県農業大学校の短期野菜専科に入学しました。いよいよ今年4月から新規就農します。借りることができた農地は、大部分が荒地、土つくりが当面の問題です。心強く頑張れば問題は問題ではなくなる。埼玉県農業大学校で学んだことを生かして安全、安心、良い品質、美味しい野菜を作りたいと思います。私は農業で頑張ります。



挑戦
牛にも人にも
無理のかからない酪農



成沢の酪農家坂田賢司さん(37歳)を紹介します。
江南地区で乳牛の飼育をしているのは坂田さんのお宅のみです。お父さんの代

から酪農を始めました。子供の頃から家に牛がいるのが当たり前の生活で、小学校の頃には牛の出産に立ち会っていました。そんな環境で育った賢司さんは、当然のこととして酪農家を目指します。ちょうど就職難の時期で、進学や就職でなくせくしている友をよそ眼に、熊谷農業高校から北海道酪農学園大学に進学し酪農家への道をまっしぐらに歩みました。

お父さんが体調を崩してからは酪農に従事しているのは賢司さん一人です。牛の世話を全て一人でこなしています。一日4回のえさやり、(坂田さんは朝、昼、夕方、夜に餌をあげます)一日中仕事に追われています。その合間をみて畑仕事もしています。他の酪農家と同様、種付けも自分でやります。どこかに旅行に行くなんてことはできません。4日クラブの仲間と堆肥を分けたことをきっかけに堆肥づくりもしています。近所の希望する方にはその

堆肥を分けています。

現在乳を搾っている牛は17頭です。毎日300リットル超を一人で出荷しています。大学のあった北海道での酪農は大規模なものが多かったですが、一人ではなかなか手の回らないこともありま。牛にも人にも無理のかからない範囲で、自分の努力に満足できる酪農を目指しています。

目下の目標は牛舎の許容範囲の32頭までに増やすことです。いつべんに増やすことは無理ですが、種付けの技術もさらに学んでいきたいという坂田さん、がんばれ!



麦わらは、有機物が豊富に含まれている大切な資源です。人と環境にやさしい農業を推進するため、麦わら等は焼却せず有効に利用しましょう。

※市では関係機関と一体となり、わらの有効活用を推進しています。
農業振興課(妻沼庁舎) 電話048-5888-9987(直通)

ここからは 大里農林振興センターです

麦わらすき込みを 始めましょう

麦わらは窒素、カリ、リン酸などが豊富に含まれる有機物資源です。土壌にすき込むことで地力が高まります。熊谷市内でも麦わらのすき込みを長年実践されている方は多く、「土が軟らかくなり、耕うん等の作業効率が上がった」など効果を実感している方もいらっしゃいます。麦わらのすき込みは、長い目で見れば非常に有用です。焼却処分せず、すき込んで有効に活用しましょう。

〈麦わらすき込みの手順〉
特に重要な作業となるのが、代かきとガス抜きです。ポイントをしつかり押さえて、今年から麦わらのすき込みを始めましょう。
(図1参照)

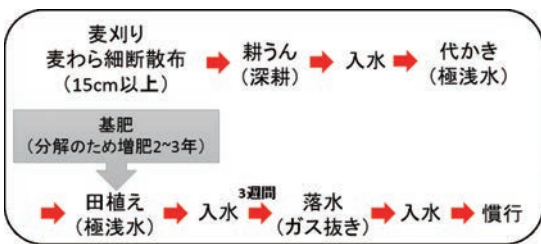


図1 麦わらすき込みの手順

キラリレディ

5

農業は他の業種と違い就業者における男女の比率がほぼ同じです。農業で活躍する女性を紹介します。

こうなん農産加工倶楽部の第三代会長の飯塚恭子さんを紹介します。



加工倶楽部の仲間と左から2番目が飯塚さん

こうなん農産加工倶楽部は平成17年11月合併前に作られたふれあいセンター江南店の隣でお食事処なご味

を運営しています。飯塚さんは開設当初からの会員です。養鶏場を営んでいた飯塚家にお嫁にきてからは外で働いたことはありませんでした。ちょうど子供も手がかからなくなり、なご味への出勤は楽しみでした。

江南地区はもともと、広く大豆が栽培されています。一般的に大豆加工品では味噌づくりが多いようですが、ここでは手作り豆腐を作ることになりました。飯塚さんは、なご味の豆腐班で豆腐作りに携わっていました。もめん・寄せ豆腐・厚揚げなどはふれあいセンターでも好評です。

2年前皆さんに勧められて会長になりました。始めは会長という大役に気後れしましたが、皆さんに助けられて頑張っています。豆腐班では週に2回の出勤でしたが、今は定休日の月曜日以外は朝8時半から夕方4時過ぎまで働いています。最初にご主人も家を空けることに對して不満を口にすることもありましたが、今では健康に働いていること

に喜んでいるようで、ありがたく思っています。



合格豆の販売は好評

江南には文殊様があります。受験に合格することを祈願した「合格豆」は今年も好評でした。地元で採れた大豆を文殊様でご祈祷してもらい、一晩水に浸してガスオーブンでゆっくり煎ります。この作業を業者に委託したこともありましたが、繊細な調整は手作業にはかないません。おかげで食べてもおいしい合格豆です。

江南には竹の子、ブルーベリー、栗、ルネッサンストマトなど隣のふれあいセンターには年間を通じておいしい特産品があります。これからもおいしい食べ物、仲間と一緒に楽しく作っていききたいというみなさん、笑顔が輝いていました。

埼玉交流サポーター

並木 綾子

麦刈り

麦わらはバラ落とせず細断し、ほ場一面に散布しましょう。代かき時の浮遊量を減少させるため、麦わらは15cm以上の長さに切断しましょう。

耕うん

作土が浅いと麦わらの密度が高くなってしまうため、深く耕うんし、麦わらの密度を低くします。アツパカットロータリー(逆転ロータリー)が使用できる場合には用いることで、麦わらの大半が土壌深部に埋め込まれます。

代かき

代かきは、トラクタの尾輪の跡に水がたまる程度の極浅水状態で、低速で行いましょう。麦わらの浮遊や吹き寄せを防げます(図2)。

例えば荒代かきを通常の水加減で行い、その後水が引いた頃に極浅

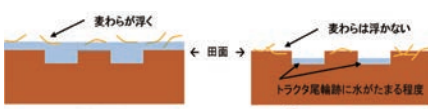


図2 代かき時の水加減イメージ(断面図)

基肥

麦わらの分解促進のため窒素を多めに施用します。10アあたり窒素成分で1く2.5kg程度を目安に増肥しましょう(表)。

すき込みを始めてから2〜3年で増肥の必要はなくなり

ガス抜き

麦わら分解時に発生するガスによる害を予防するために、移植後3週間を目安に田面が露出するように落水し、ガス抜きをしましょう。田植後後まもなく高温等の影響でガスの発生が見られた場合には、速やかに落水しガス抜きをしてください。

表 基肥の施肥量目安(増肥分を加えた量)

肥料銘柄例	施用量(kg/10a)
けやき化成	43~53
コープペースト222P	40~50



大野 隆一

「農機具の導入と食の安全」

このコーナーは、農業委員が農業に関することを自由に述べるコーナーです。



先代の農業は人力畜力農法で、水田は馬による馬鍬（まぐれ）を用いて田面を均して田植えをしていました。ある時、農作業中、馬に蹴られ、一命は取りとめたものの瀕死の重傷を負い、それを契機に、昭和37年ころから機械化農法に替えました。私が農作業の手ほどきを受けた小学校の5、6年生の頃、初めて耕運機で代掻きをしたことを覚えています。耕作面積は1町6反、人手不足で田植え時期は早朝に起こされ居眠りしながら苗ふりをし、又、稲刈り時期は夜なべで脱穀作業でした。



農作業が軌道に乗った昭和46年、減反政策が始まり、致し方なく兼業農家になりました。会社勤めの傍ら、米作のみの一毛作で、勤めの休暇を取つての農作業でした。

田植え機、バインダーと農機具を導入し、次第に大型機械を用いての農法に切り替わっていきました。

しかし、その頃より新興住宅が増え、用水路には生活排水が流れ込むようになったため、私は各圃場に灌漑用井戸を掘りました。食の安全を第一に、地下水をモーターでくみ上げて水を供給しています。田に雑排水は流れ込みません。そして稲刈りまでの期間、各井戸小屋に設けられたタイマーで水の管理をし、現在では、4町の稲作をしています。私の人生もトラック競技にたとえると、第4コーナーを回ったところ、一日も長く農業が続けられるよう、米作りに邁進していきます。

治水と用水 ①中条堤

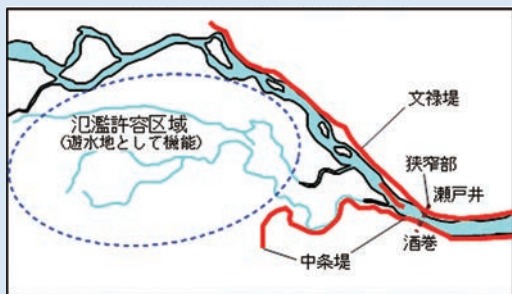
中条堤とは東京（江戸）を洪水から守るため、妻沼地区の広大な土地に人為的に氾濫をさせるために作られた施設でした。

利根川と福川の合流点から2.5キロメートルほど上流に位置し、利根川の堤防に直角に福川の旧流路に沿って約4キロメートルに亘って続いています。

中条堤付近は利根川の勾配が緩やかなため、下流の行田市酒巻と千代田町瀬戸井間に人為的に狭窄部を設け、右岸には中条堤、左岸には文祿堤が築かれて両方の堤防と狭窄部が漏斗のような形となり、利根川に流れ込んだ雨水は行き場を失い、中条堤に沿って溢れ出す仕組みです。このように上流で氾濫を起こすことにより、下流の広大な農地や市街地を守ってきました。

いざ洪水となると妻沼地区は広大な遊水地となりました。このときに湛水した面積は山手線の内側よりわずかに狭い50平方キロメートルで、1億立方メートル以上の貯留がされ洪水時には大きな効果を発揮していました。しかし、当然のことながら、中条堤の上流と下流では利害関係が相反し住民に大きな対立を招いてしまいました。（続く）

中条堤と瀬戸井・酒巻狭窄部



大熊孝『増補・洪水と治水の河川史』(平凡社ライブラリー)

編集後記

桜の開花とともに屋外作業の忙しい季節となりました。高齢者の農機具事故が増えていますので、充分にお気を付けてください。

TPPはとん挫しましたが、それ以上に日米二国間協議の行方が気にかかるところです。しかし、それでも私たち農家は周りの状況に関係なく、安心安全な農作物を作っていくしかないのもしれません。

この農委だよりが皆さんの情報誌として役立てるよう紙面の充実を図っていきますので、今後ともよろしくお願いたします。

（森 宏志 委員 記）

編集委員

- 委員長 堀 重明
副委員長 福田 正八
委員 赤石 嘉孝
委員 大澤 芳明
委員 根岸 里次
委員 松本 丈
委員 茂木 友秀
委員 森 宏志
委員 矢島 君夫

この「くまがや農委だより」は、88000部作成し、印刷経費は1部当たり、約16・42円です。